

消化器内科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とした医学系研究に関する倫理指針」（平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。なお、この臨床研究は手稲溪仁会病院倫理委員会の審査を受け、研究方法の科学性、倫理性や患者さんの人権が守られていることが確認され、病院長の許可を受けています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

《研究課題名》 膵管内乳頭粘液性腫瘍（IPMN）における HGD と T1 浸潤癌の臨床病理学的差異の検討:多施設共同研究（付随研究）

《研究組織》 研究責任者：愛知県がんセンター中央病院 消化器内科 脇岡 範  
JA 尾道総合病院 消化器内科 南 智之  
共同臨床研究機関：日本膵臓学会・嚢胞性膵腫瘍委員会

《研究の目的》 この研究は、研究題目「IPMN における新たな癌予測モデル作成のための多施設共同研究」（以下、多施設共同研究）の付随研究で、多施設共同研究による IPMN 切除症例の病理所見の中から、HGD と T1 浸潤癌（T1a-T1c）を抽出し、臨床所見、血液生化学的所見、画像所見を比較検討し、術前検査に有用な臨床的な差異を同定すること

《研究の方法》

●対象となる患者さん

1996年1月～2014年12月までに外科的手術にて病理組織学的に膵管内乳頭粘液性腫瘍（Intraductal papillary mucinous neoplasm; IPMN）と診断された方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、症状の有無、検査結果（血液検査、画像検査）、膵液細胞診の診断、病理診断、など上記カルテ情報を、研究事務局に集積し、解析を行います。

《研究実施期間》 実施許可日～2018年12月31日

《この研究に関する情報の提供について》

この研究に関して、研究計画書や研究に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

《個人情報について》

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、患者さん個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。患者さんからご自身の情報開示等の請求は個々に対応いたします。

\*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

《問い合わせ先》

当院研究責任医師：消化器病センター 金 俊文  
手稲溪仁会病院 〒006-8555 札幌市手稲区前田1条12丁目1-40  
電話 011-681-8111（代表） FAX 011-685-2196